

Press Release

日本ベーリンガーインゲルハイム、 「BI ファーマシストアワード 2014」グランプリを発表 募集テーマ「薬剤師が実践する患者中心の医療」

2014年3月10日 日本／東京

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:青野吉晃)は3月9日、「BI ファーマシストアワード 2014」の最終選考会を東京国際フォーラムで実施するとともに、グランプリ、準グランプリなど各賞の発表および表彰式を執り行いました。

「BI ファーマシストアワード」は、日々の薬剤師業務を通じて医薬品の適正使用や薬物治療に貢献する優れた取り組みを表彰するため、日本ベーリンガーインゲルハイムが2010年4月に創設した賞です。第4回目となる今回は「薬剤師が実践する患者中心の医療」をテーマに論文の募集を募りました。全国の薬剤師から寄せられた59件の応募の中から一次審査を通過した12組が最終選考会で発表を行いました。最終審査の結果、グランプリには「**往診前訪問による、患者中心の薬物治療の実践**」(サンキュードラッグ 桃園薬局 高橋 俊輔[たかはし しゅんすけ]先生)が選ばれました。

準グランプリには「**不眠症治療における薬剤師の役割 ～チーム医療による共同管理の取り組み～**」(平松内科・呼吸器内科 小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック 伊藤 光[いとう ひかる]先生)と「**『術後せん妄』発症予防ならびに発症率低下に貢献する薬剤師業務の展開と実践**」(岡山大学病院 北村佳久[きたむら よしひさ]先生)が選定されました。



2014年3月10日

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社
広報部

東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower
Tel: 03-6417-2145
Fax: 03-5435-2920



当プレスリリースは、弊社HPからも
ご覧になれます。

www.boehringer-ingelheim.co.jp



写真中央 サンキュードラッグ 桃園薬局(北九州市) 高橋 俊輔先生

写真左 岡山大学病院(岡山市) 北村 佳久先生

写真右 平松内科・呼吸器内科 小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック(小牧市) 伊藤 光先生

表彰式にて、グランプリ受賞者には 50 万円、準グランプリ受賞者には 30 万円の賞金、さらに賞状とトロフィーがそれぞれ贈呈されました。

日本薬剤師会 会長 児玉孝氏は、「医薬品の適正使用や患者さんの満足度向上に貢献する薬剤師の取り組みが評価されるのは大変喜ばしいことです。BI ファーマシストアワードが日々の活動の改善や更なる研究の励みになると期待しています」とコメントしました。

また、日本病院薬剤師会 会長 北田 光一氏は、「薬剤師は、患者中心のチーム医療のなかで高い専門性をもって、独自の視点から有効性・安全性の高い薬物治療の提供に積極的に参画することが求められています。受賞された先生方に対して心からお慶びを申し上げますとともに、引き続き医薬品の適正使用を介して地域医療の充実に貢献されることを期待しております。」と述べています。

次回「BI ファーマシストアワード 2015」の募集テーマは 2014 年 5 月中旬以降、日本ベーリンガーインゲルハイムのホームページ上で発表します。

選考委員

委員長	明治薬科大学	教授	伊東 明彦 先生
委員	公益社団法人日本薬剤師会	相談役	漆畑 稔 先生
	一般社団法人東京都病院薬剤師会	常任理事	奥山 清 先生
	東京医科大学八王子医療センター	薬剤部長	
	公益社団法人日本薬剤師会	副会長	藤垣 哲彦 先生
	一般社団法人大阪府薬剤師会	会長	
	一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所	所長	堀 美智子 先生
	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー	取締役	